

地域共生社会に 必要な連携 とは何か？

助成金申請
に活かそう！

開催趣旨

地域共生社会の実現には、地域の多様な主体による共助や協力のネットワークが多数つくられることが望まれています。

助成金申請や次年度の事業を計画する際に、そうした「共生社会を目指す連携」をどのように描くことができるのか、この学習会において皆さまと考えます。

(※プログラム詳細はチラシ裏面を参照ください)

— ひとつこと —

第1部 講演

講師 松原明さんより

地域には多様な主体が存在し、それぞれ異なる目的を持っています。

その中で私たちは、どうしたら共通のテーマをもち、協力することができるでしょうか。一緒に考えましょう。

日時 令和3年12月1日(水)

13時10分~16時10分

方法 オンライン (Zoomウェビナー予定)

※申込者には後日配信URLを提供予定

対象者

共生社会づくりに取り組む民間福祉団体、行政職員
助成金申請、計画づくりに取り組む民間福祉団体
共生社会づくりに向けた連携に関心を持つ方 など

こんな方におすすめです

- ✓「共生社会づくりに取り組んでいるけれど、地域の関係者の理解が得るのが難しいです」
- ✓「異なる目的をもつ多様な主体がどうやって連携し合うことができるのか、ヒントがほしいです」

参加費 **無料** 定員 **200**名

参加申込

右記のQRコードより、お申込みください。



主催:独立行政法人福祉医療機構(WAM)

協力:社会福祉法人中央共同募金会

当日時間の合わない方の申込も歓迎します！
申込者には後日視聴できるURLをお送りする予定です。

NPO

商店街
振興組合

社会
福祉
法人

民間
企業

地域の
人々

異なる目的をもつ
多様な主体の共通テーマ

行政

プログラム詳細

13:10～13:15	開 会	開会あいさつ
13:15～14:00	【第1部】講演	テーマ「地域共生社会に必要な連携のポイント」 松原 明 氏 協力世界 代表 特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 元代表
14:10～15:30	【第2部】 助成プログラム・連携 事例の紹介	「共生社会づくりに向けた連携の具体例」 ◆「赤い羽根福祉基金」助成プログラムの紹介 秋貞 由美子 氏（社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部長） ◆事例紹介「異業種連携による、人を中心とした地域循環型 ふくしの就労（林福連携事業）」 菊池 亮 氏（社会福祉法人釜石市社会福祉協議会 地域福祉課長） ◆事例のポイント解説（松原 明 氏） ◆「WAM助成」助成プログラムの紹介 （独立行政法人福祉医療機構 NPOリソースセンター職員） ◆事例紹介「障害のある方とともに暮らし続ける社会づくり」 小田 泰久 氏（社会福祉法人楽笑 理事長） ◆事例のポイント解説（松原 明 氏）
15:30～16:05	チャットによる 質問タイム	進 行：松原 明 氏 対 応 者：各登壇者 ・中央共同募金会 ・釜石市社会福祉協議会 ・福祉医療機構 ・楽笑
16:05～16:10	おわりに	閉会あいさつ
16:10	閉 会	



赤い羽根
福祉基金

中央共同募金会
×
釜石市社会福祉協議会



福祉医療機構(WAM)
×
楽笑



松原 明 氏



菊池 亮 氏



小田 泰久 氏

* 登壇者のプロフィール詳細は、チラシ表面のQRコードより学習会HPをご覧ください。

お問い合わせ

独立行政法人福祉医療機構 NPOリソースセンター NPO支援課

TEL : 03-3438-4756

～ WAM助成に興味を持っていただけの方へ ～
Facebook, Twitterにて、民間福祉活動に関する
お役立ち情報などを随時発信しています。
ぜひ、ご覧ください！《アカウント名：WAM助成》

